

令和7年度バドミントン新人大会（個人戦） 競技上の注意事項

- ① 男子ダブルス 46 番、女子ダブルス 47 番、男子シングルス 48 番、女子シングルス 53 番まで 15 点の得点制限を行います。14 点オール以後は 2 点先取、上限 21 点です。以降は、得点制限はありません。20 点オール以後は 2 点先取、上限 30 点です。
すべての試合において次の試合まで 15 分を空けます。
 - ② 各試合のシャトルは 1 個、本部からの支給とします。後は各校の相対で補給をお願いします。
シャトルの温度番号は「4 番」です。
各試合に際し、各校から線審を 1 名 同行させてください。
 - ③ 各試合前の練習時間は個人戦では行いません。各自で事前に準備運動、ウォーミングアップを行い、ケガをしないように注意してください。
 - ④ 試合（マッチ）中の水分補給、汗ふきなどは必ず主審の許可を得てください。なお、氷嚢の使用は、インターバル中のみとします。容器は倒れてもこぼれないフタ付ボトルを使用し、自分のバッグに入れてください。
 - ⑤ 審判は各コートの 1 試合目は本部からの指定で行います。本部のコールをよく確認してください。
2 試合目以降からは前試合の敗者が主審、サービスジャッジ兼得点表示となります。
ルールのおぼつかない 1 年生が審判をすることのないようにお願いします。
ベスト 8 に残った学校は、順位決定戦があるので、最後まで帰らずに待機しててください。
また、ベスト 16 に残った学校は審判また代表決定戦がありますので、最後まで帰らないでください。
- サービスジャッジは、ポストにコート面から 1.15m 高さのところにマークがありますので、そのマークを基準にコート面から 1.15m 高さのところに水平面をイメージし、判定してください。
- スコアボードは本部から運ばれますので敗者校はそのままコートに残り、搬入を待つてください。
- ⑥ 線審はアウトのコール、シグナルをきちんと行ってください。必ず大会出場者もしくは、ルール理解者が審判を行うようにしてください。
 - ⑦ 応援は着席のうえ拍手、手拍子、声 援、掛け声のみとし、応援歌は禁止とする。また、ベンチ付近での立ち上がっての声援は行わないでください。
 - ⑧ インターバル中、競技区域付近でのアドバイスは、監督・コーチなど同時に 2 名までです。
 - ⑨ 本大会は、2025 年度 日本バドミントン協会競技規則に準じて進行します。
サービスのフォルトはゲーム開始当初からとってください。
以下のルール改正に伴い、スピンサーブはフォルトとなります。
バドミントン競技規則 第 9 条 サービス 第 1 項（5）サーバーは、スピン（回転）を加えずにシャトルを放し、ラケットで最初 にシャトルの台を打つものとする。
 - ⑩ ゲーム内、11 点の際の 60 秒のインターバルを主審は必ずコールし、プレイヤーも確認してください。ゲーム間は 120 秒です。両者とも残り 20 秒でコートインをお願いします。
ストップウォッチを必ず使用してください。遅れた場合はフォルトとなります。
 - ⑪ 審判の判定に「抗議」や「異議」を唱えることは一切認められません。もし判定に対し疑問がある場合には、次のサービスが為される前に「質問」をすることができます。ここで質問ができる者とは、個人戦では当該選手に限ります。必要な場合はレフェリーを呼んでください。